

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 28 年 11 月 10 日 (2016.11.10)

【公開番号】特開 2015-71683 (P2015-71683A)

【公開日】平成 27 年 4 月 16 日 (2015.4.16)

【年通号数】公開・登録公報 2015-025

【出願番号】特願 2013-207675 (P2013-207675)

【国際特許分類】

C 0 8 C 19/28 (2006.01)

G 0 2 F 1/1335 (2006.01)

G 0 9 F 9/00 (2006.01)

C 0 9 D 5/00 (2006.01)

C 0 9 D 113/00 (2006.01)

C 0 9 D 109/00 (2006.01)

C 0 9 D 133/08 (2006.01)

C 0 9 D 133/10 (2006.01)

C 0 9 D 109/02 (2006.01)

C 0 9 D 109/06 (2006.01)

C 0 8 F 299/00 (2006.01)

C 0 8 F 290/12 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 C 19/28

G 0 2 F 1/1335

G 0 9 F 9/00 3 0 2

C 0 9 D 5/00 Z

C 0 9 D 113/00

C 0 9 D 109/00

C 0 9 D 133/08

C 0 9 D 133/10

C 0 9 D 109/02

C 0 9 D 109/06

C 0 8 F 299/00

C 0 8 F 290/12

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 9 月 26 日 (2016.9.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 0】

請求項 1 ~ 4 のいずれか記載の活性エネルギー線硬化性樹脂、又は請求項 5 ~ 9 のいずれか記載の活性エネルギー線硬化性樹脂組成物が硬化されてなる画像表示ディスプレイの画像表示ユニットと前面板との間の緩衝層。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明者らは、上記の目的を達成するべく検討を行った結果、本発明に到達した。即ち本発明は、下記3発明である。

(I) 数平均分子量が2900～100000である無水マレイン酸変性されたポリブタジエン骨格を有する化合物(A)と炭素数が4～100である活性水素含有基を有する(メタ)アクリレート(B)とが反応されてなり、数平均分子量が3000～100000である画像表示ディスプレイの画像表示ユニットと前面板との間の緩衝層用活性エネルギー線硬化性樹脂(C)。

(II) 上記(I)の活性エネルギー線硬化性樹脂(C)及び重合開始剤(D)を含有する画像表示ディスプレイの画像表示ユニットと前面板との間の緩衝層用活性エネルギー線硬化性樹脂組成物。

(III) 上記(I)の活性エネルギー線硬化性樹脂、又は上記(II)の活性エネルギー線硬化性樹脂組成物が硬化されてなる画像表示ディスプレイの画像表示ユニットと前面板との間の緩衝層。